

平成18年3月27日

広島市議会議長
藤田博之様

提出者
広島市議会議員

平木典道	金子和彦
木山徳和	倉本忠宏
若林新三	中森辰一
元田賢治	沖宗正明
佐々木壽吉	松坂知恒
中本弘	山本誠
馬庭恭子	大原邦夫
永田雅紀	安達千代美

新球場の建設に関する決議案

上記の決議案を別紙のとおり提出する。

新球場の建設に関する決議案

本市では、平成18年度当初予算案に多額の新球場建設関係経費が盛り込まれるなど、ようやく、市民・県民の願いであった新球場の実現に向けた歩みが始まろうとしている。

広島市議会においても、一昨年10月には、その建設促進を求める決議案を全会一致で可決しているところである。

しかし、この事業が、市民・県民の長年の夢を結実するものであり、本市の公共事業として実施される以上、当該事業の遂行に当たっては、議会として、監視する責務があり、また、市民もそうした役割を議会に期待しているものと考えます。

こうした中で、本市では、今年度、新球場の建設のための設計・技術提案競技を実施された。これは、新球場の建設に当たり、民間のアイデアやノウハウを最大限活用することとし、独創的なデザインや高度な技術が融合した新球場の提案を求めたものである。

言うまでもなく、新球場は21世紀の新たな広島のシンボルとして、市民・県民が誇りを持てる施設でなければならないし、また、これまでの球場にない新たな魅力を有し、中・四国地方はもとより、広く国内外から集客できる施設でなければならない。これが、新球場建設の基本理念である。

設計・技術提案競技そのものは、この基本理念を具現化するための有効な手段の一つと認められるものの、当該提案競技への応募が1共同体のみとなった現状では、提案競技に期待される競争性も事実上なくなるなど、その趣旨にもそぐわなくなっている。

新球場を市民・県民の誇りとなり得る施設とするために、また、将来世代に対しても、広島の財産として自信を持って引き継ぐことができるように、慎重に対応することが必要であると考えます。

よって、新球場の建設に当たっては、市民・県民の理解と協力が得られるよう、透明性、公平性等を確保するとともに、早期実現に向けて推進されることを強く求めるものである。

以上、決議する。

平成18年3月 日

広島市議会